

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 日本ライフライン株式会社

コード番号 7575 URL <http://www.jll.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 政次 浩二

TEL 03-6711-5200

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 17,437 | 4.3 | 974 | 14.9 | 950 | 1.6 | 574 | 26.4 |
| 23年3月期第3四半期 | 16,718 | 0.7 | 848 | △28.6 | 935 | △25.3 | 454 | △26.7 |

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 500百万円 (10.7%) 23年3月期第3四半期 452百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第3四半期 | 53.15 | — |
| 23年3月期第3四半期 | 42.05 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第3四半期 | 25,816 | | 14,871 | | 57.6 | |
| 23年3月期 | 23,710 | | 14,694 | | 62.0 | |

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 14,871百万円 23年3月期 14,694百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 24年3月期(予想) | | | | 25.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 22,980 | 2.8 | 1,113 | 14.4 | 1,060 | △2.1 | 555 | △28.2 | 51.39 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 24年3月期3Q | 11,302,497 株 | 23年3月期 | 11,302,497 株 |
| 24年3月期3Q | 500,473 株 | 23年3月期 | 500,438 株 |
| 24年3月期3Q | 10,802,031 株 | 23年3月期3Q | 10,802,142 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 4 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 4 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 5 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (4) セグメント情報等 | 10 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| (6) 重要な後発事象 | 10 |
| 5. 補足情報 | 11 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 11 |
| (2) 四半期連結損益計算書関係注記 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(売上高について)

当第3四半期連結累計期間の当社グループといたしましては、心臓ペースメーカ等を取り扱うリズムデバイスにおきましては、概ね前年同期水準の売上高となりました。また、EP（電気生理用）カテーテルや人工血管といった自社グループ製品におきましては、全般的に堅調に推移し、前年同期を上回る実績となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、174億3千7百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

品目別の販売状況は以下のとおりです。

<品目別売上高>

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 増減率 |
|------------|--|--|-------|
| リズムデバイス | 8,007 | 7,977 | △0.4% |
| EP/アブレーション | 3,453 | 3,764 | 9.0% |
| 外科関連 | 1,758 | 1,764 | 0.3% |
| インターベンション | 2,414 | 2,853 | 18.1% |
| その他 | 1,083 | 1,077 | △0.6% |
| 合計 | 16,718 | 17,437 | 4.3% |

※各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

| | |
|------------|--|
| リズムデバイス | 心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ） |
| EP/アブレーション | EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル |
| 外科関連 | 人工血管、人工心臓弁、人工心肺関連商品 |
| インターベンション | バルーンカテーテル、ガイドワイヤー、心房中隔欠損閉鎖器具、動脈管開存閉鎖器具、血管内異物除去用カテーテル |
| その他 | 血液浄化関連商品 |

①リズムデバイス

心臓ペースメーカにおきましては、「REPLY（リプライ）」の新機種を昨年11月に発売し、拡販に努めた結果、販売数量が伸びました。また、ICD（植込み型除細動器）関連におきましては、競合各社とともにICDやCRT-Dの市場を成長市場と位置づけ、販売を強化していることもあり、「PARADYM（パラダイム）CRT-D」の市場導入の進捗が当初見込みに比べ遅れております。

以上の結果、リズムデバイスの売上高は79億7千7百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

②EP/アブレーション

EPカテーテルにおきましては、心房細動のアブレーション治療時に用いられる「EPstar Libero（EPスター・リベロ）」をはじめとして、全般的に堅調に推移し、売上高は前年同期比18.5%の増加となりました。また、アブレーションカテーテルにおきましては、競合製品の影響により、売上高は前年同期比4.6%の減少となりました。

以上の結果、EP/アブレーションの売上高は37億6千4百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

③外科関連

人工血管におきましては、新工場の稼働により、既に医療現場において高い製品評価を得ている「J Graft（ジェイ・グラフト）」の生産体制が確立し、安定供給が可能となったことから、売上高は前年同期比17.6%の増加となりました。

人工心臓弁におきましては、生体弁の耐久性向上等により機械弁から生体弁へと治療方法が移行しており、当社が取り扱っております機械弁市場が減少傾向にあるため、売上高は前年同期比16.5%の減少となりました。

以上の結果、外科関連の売上高は17億6千4百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

④インターベンション

バルーンカテーテルにおきましては、ハイレッシャータイプの商品を中心に「LIFESPEAR（ライフスピーア）」シリーズの販売数量が引き続き伸長し、売上高は前年同期比25.3%の増加となりました。

また、心房中隔欠損閉鎖器具および動脈管開存閉鎖器具におきましては、治療方法の普及を背景として、売上高は前年同期比25.3%の増加となりました。

以上の結果、インターベンションの売上高は、28億5千3百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

⑤その他

連結子会社で販売する血液浄化関連商品等のその他の売上高は、10億7千7百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

（損益について）

①営業利益

当第3四半期連結累計期間におきましては、平成22年4月の保険償還価格引下げ前に仕入れた原価の高い商品在庫の払い出しが進んだことに加え、収益性の高い自社ブランド商品や自社製品の寄与により、売上総利益率は前年同期に比べ3.0ポイント改善いたしました。

また、販売費及び一般管理費につきましては、研究開発等の成長投資を行なったことなどにより前年同期に比べ、10.4%増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は9億7千4百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

②経常利益

受取利息および受取配当金等を、営業外収益として4千3百万円計上した一方、為替差損および支払利息等を、営業外費用として6千7百万円計上した結果、当第3四半期連結累計期間における経常利益は9億5千万円（前年同期比1.6%増）となりました。

③四半期純利益

AGA Medical社商品の独占販売契約終了に伴い、特別利益として、薬事承認権譲渡益等を4億7千5百万

円計上した結果、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は5億7千4百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第3四半期連結会計期間の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度に比べ4億8千1百万円増加し、176億9千1百万円となりました。これは主として現金及び預金が2億7千2百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が4億1千3百万円、その他流動資産が3億7千3百万円増加したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度に比べ16億2千5百万円増加し、81億2千5百万円となりました。これは主として戸田ファクトリーの建設関連で有形固定資産が7億4千3百万円増加、また、投資有価証券が5億3千7百万円、長期貸付金が2億8千7百万円それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度から21億6百万円増加し、258億1千6百万円となりました。

②負債

当第3四半期連結会計期間の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度に比べ21億4千6百万円増加し、82億1千9百万円となりました。これは主として短期借入金16億円、未払金が7億7百万円増加した一方で、賞与引当金(未払賞与を含む)が3億1千万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度に比べ2億1千5百万円減少し、27億2千6百万円となりました。これは主として長期借入金が返済等により1億7千4百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度から19億3千万円増加し、109億4千5百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間の純資産につきましては、前連結会計年度に比べ1億7千6百万円増加し、148億7千1百万円となりました。これは主として剰余金の配当を3億2千4百万円実施したこと、及び、四半期純利益を5億7千4百万円計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、以下の理由から、平成23年4月28日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成24年1月31日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（修正の理由）

ICD関連商品の売上が、市場環境の厳しさから当初計画を下回って進捗していることや、生体弁等の一部新商品の発売が遅れておりますことから、売上高および営業利益は前回予想を下回ることを見込んでおります。また、為替差損の計上による経常利益の減少、法人税率引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩しにより当期純利益の減少を見込んでおります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

連結子会社は、法人税等の算定に当たり、税金等調整前四半期純利益に見積実効税率を乗じて算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,669,526 | 2,396,946 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,557,235 | 6,970,768 |
| 有価証券 | 405,049 | 405,303 |
| たな卸資産 | 6,702,323 | 6,839,400 |
| 繰延税金資産 | 391,660 | 222,272 |
| その他 | 488,108 | 861,114 |
| 貸倒引当金 | △3,942 | △4,511 |
| 流動資産合計 | 17,209,961 | 17,691,294 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,942,655 | 3,685,674 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 10,432 | 4,909 |
| その他 | 39,016 | 37,692 |
| 無形固定資産合計 | 49,449 | 42,601 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 3,513,293 | 4,402,793 |
| 貸倒引当金 | △5,252 | △5,702 |
| 投資その他の資産合計 | 3,508,040 | 4,397,091 |
| 固定資産合計 | 6,500,145 | 8,125,367 |
| 資産合計 | 23,710,107 | 25,816,662 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,542,529 | 1,804,207 |
| 短期借入金 | 2,170,000 | 3,770,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 189,500 | 232,000 |
| 未払金 | 635,093 | 1,342,746 |
| 未払法人税等 | 437,277 | 249,213 |
| 賞与引当金 | 22,426 | 349,813 |
| 役員賞与引当金 | 31,520 | — |
| 移転費用引当金 | 37,350 | 37,350 |
| その他 | 1,007,221 | 433,675 |
| 流動負債合計 | 6,072,917 | 8,219,005 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 499,000 | 325,000 |
| 長期未払金 | 722,127 | 576,836 |
| 退職給付引当金 | 1,253,452 | 1,334,913 |
| 役員退職慰労引当金 | 269,421 | 282,825 |
| 負ののれん | 8,440 | 6,330 |
| その他 | 189,860 | 200,506 |
| 固定負債合計 | 2,942,302 | 2,726,412 |
| 負債合計 | 9,015,220 | 10,945,418 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,115,241 | 2,115,241 |
| 資本剰余金 | 2,328,128 | 2,328,128 |
| 利益剰余金 | 10,600,484 | 10,850,504 |
| 自己株式 | △351,472 | △351,492 |
| 株主資本合計 | 14,692,381 | 14,942,382 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,506 | △71,138 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,506 | △71,138 |
| 純資産合計 | 14,694,887 | 14,871,243 |
| 負債純資産合計 | 23,710,107 | 25,816,662 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 16,718,132 | 17,437,081 |
| 売上原価 | 8,594,579 | 8,433,059 |
| 売上総利益 | 8,123,552 | 9,004,021 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,275,469 | 8,029,375 |
| 営業利益 | 848,083 | 974,646 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,908 | 5,199 |
| 受取配当金 | 7,867 | 2,581 |
| 為替差益 | 19,270 | — |
| 負ののれん償却額 | 2,110 | 2,110 |
| スクラップ売却益 | 25,059 | — |
| その他 | 50,052 | 33,591 |
| 営業外収益合計 | 106,267 | 43,482 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 13,770 | 16,470 |
| 為替差損 | — | 30,517 |
| デリバティブ評価損 | 1,110 | — |
| その他 | 3,684 | 20,795 |
| 営業外費用合計 | 18,565 | 67,783 |
| 経常利益 | 935,785 | 950,345 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 486 | 496 |
| 投資有価証券売却益 | 167 | — |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | 112,927 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,724 | — |
| 薬事承認権譲渡益 | — | 244,590 |
| 納入先引継による受入金 | — | 219,412 |
| その他 | — | 10,651 |
| 特別利益合計 | 116,306 | 475,150 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,854 | 8,025 |
| 固定資産売却損 | 51 | — |
| 投資有価証券評価損 | 9,765 | 7,143 |
| 投資有価証券売却損 | 1,566 | 1,022 |
| 匿名組合投資損失 | 2,427 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 31,245 | — |
| その他 | 1,982 | 450 |
| 特別損失合計 | 48,892 | 16,640 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,003,199 | 1,408,855 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 348,333 | 617,288 |
| 法人税等調整額 | 200,595 | 217,483 |
| 法人税等合計 | 548,928 | 834,772 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 454,271 | 574,082 |
| 四半期純利益 | 454,271 | 574,082 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 454,271 | 574,082 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,192 | △73,644 |
| その他の包括利益合計 | △2,192 | △73,644 |
| 四半期包括利益 | 452,079 | 500,438 |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 452,079 | 500,438 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、すべての拠点は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

| 区分 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|------------------|--|--|
| | 金額 | 金額 |
| EP/アブレーションカテーテル類 | 1,286,489 | 1,353,378 |
| 外科関連 | 305,326 | 368,456 |
| インターベンション | 173,744 | 180,375 |
| その他 | 417,812 | 466,476 |
| 合計 | 2,183,374 | 2,368,686 |

② 受注状況

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

③ 販売状況

当第3四半期連結累計期間における販売実績を商品区分別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

| 区分 | 前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) |
|------------|--|--|
| | 金額 | 金額 |
| リズムデバイス | 8,007,597 | 7,977,891 |
| EP/アブレーション | 3,453,103 | 3,764,390 |
| 外科関連 | 1,758,707 | 1,764,018 |
| インターベンション | 2,414,936 | 2,853,062 |
| その他 | 1,083,786 | 1,077,718 |
| 合計 | 16,718,132 | 17,437,081 |

(2) 四半期連結損益計算書関係注記

当第3四半期連結累計期間の特別利益に計上されている「納入先引継による受入金」は、平成23年2月28日付でセントジュードメディカルジャパン(株)及びAGA MEDICAL CORPORATION社と締結したAGA社製商品の取扱い終了に関する「TERMINATION, TRANSFER AND TRANSITION SERVICES AGREEMENT」(以下、「TTTSA」)に基づくものであります。

これまで当社は国内に心房中隔欠損閉鎖器具を初めて上市し、国内の総販売代理店として同商品の市

場形成に努めてまいりました。このたび、TTSAに基づき、平成23年12月末をもって同商品の販売を終了するに際し、その対価として引継先から受け入れたものです。